

# 都市局長賞

## ■大手前通りシンボルロード整備事業 (表彰対象者：姫路市道路局建設部街路建設課)

### 事業のあらまし

JR姫路駅から姫路城(国宝)に至るまでの駅前幹線(大手前通り)を姫路市の顔となるべきシンボルロードとして整備したものである。また、この事業にあわせて放置自転車問題を解消するた

め、昭和61年度から3ヶ年計画で自転車駐車場の整備を行ったものである。

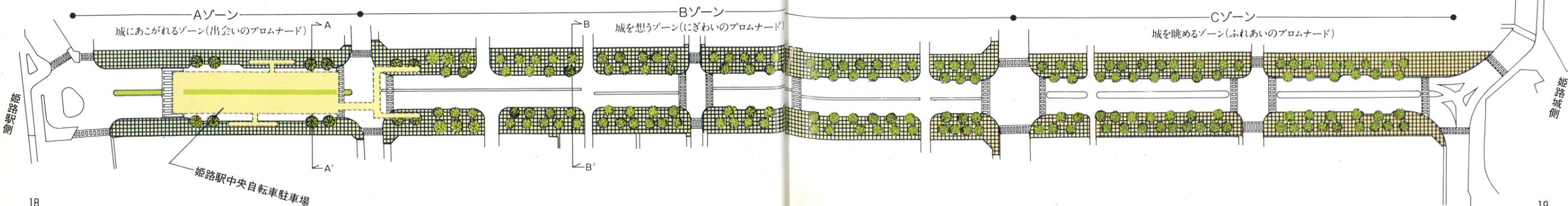


整備前



整備後の大手前通り

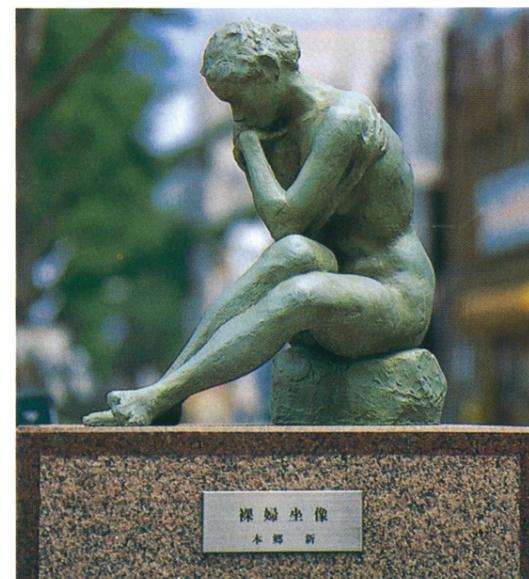
### ■シンボルロード平面図



■駐車場平面図

## 環境改善と道路の機能性を重視した 姫路駅中央自転車駐車場(有料)

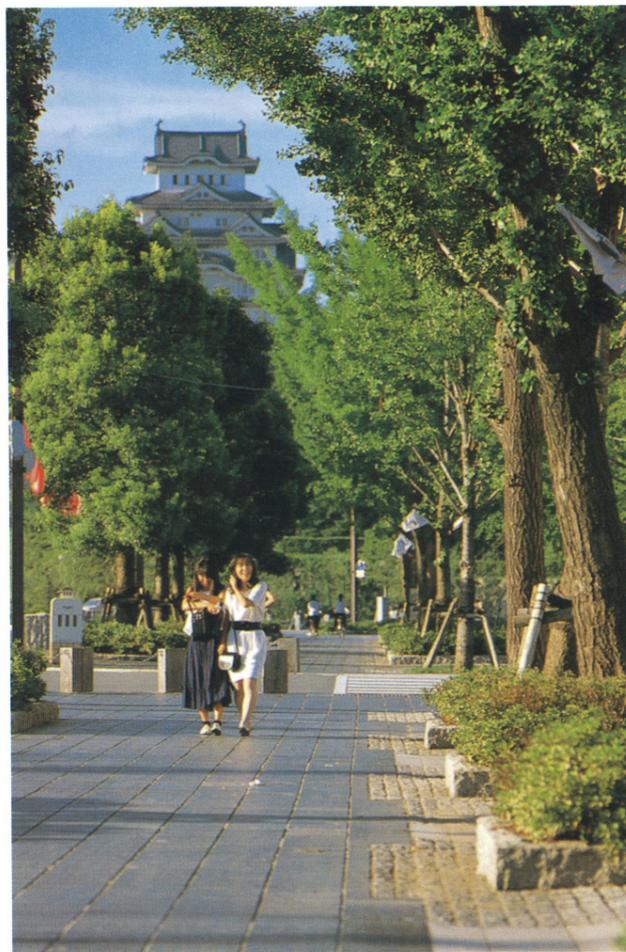
施設名/姫路駅中央自転車駐車場  
 延床面積/3,140㎡  
 収容台数/2,362台(自転車1,948台・ミニバイク414台)  
 事業年度/昭和61年~昭和63年  
 事業費/1,088百万円



## 造形美の かもしだす 文化の香り



延 長/830m  
 ■Aゾーン：160m  
 城にあこがれるゾーン(出会いのpromナード)  
 ■Bゾーン：400m  
 城を想うゾーン(にぎわいのpromナード)  
 ■Cゾーン：270m  
 城を眺めるゾーン(ふれあいのpromナード)



現行の交通拠点を維持しながら、更に城観光客を対象としたタクシー乗り場も新たに設置し、利用者の便宜を図っている。又、タクシーへの乗降スペースを確保し、交通の流れを円滑にするための配慮がされている。



## 街の美観と道路の機能性を満たして—— ここはお城へとつづくメインロード



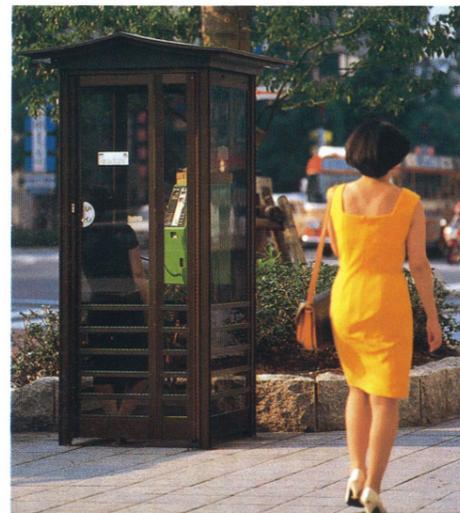
イチョウ並木の間に設けられた照明はシンプルな角形で、色も並木と調和して自然の中にとけ込んでいる。又、信号や標識を一体化させたものもあり、ポール数を減らすことにより、環境の美化をより一層図っている。



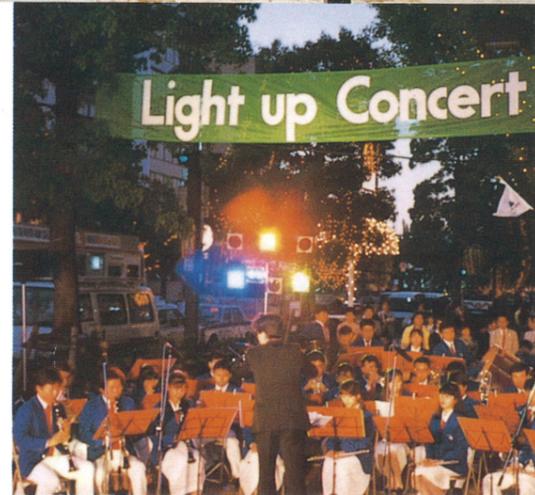
シンボルロードの植樹は、自然石を使った立ち上げ式が多いが、歩行機能、樹下利用優先の場所には、美観も兼ねて铸铁製のツリーサークルが採用され、緑豊かな空間づくりの演出に貢献している。



伝統美と都市機能の調和をめざして



照明灯同様、まわりの並木や自然によくなじんだ色調で、その個性的な色使いと姿は、洗練された都会の雰囲気すら感じさせる。



カラ―舗装の上では楽しいミニコンサートも開かれる。

### 受賞の理由

国宝姫路城を背景に緑と文化の香りの感じられる街路整備を行った。随所に細やかな心づかいが感じられ、姫路祭や青空バザールなどを通じて市民が親しめる街路整備が行われたほか、市街地に地下駐輪場を確保したことなどが評価された。



車止めも他の施設同様、シンボリックな景観づくりに役立っている。